

冬は香川の山里へ。



「夢以外にも大切なものができました」 人形劇師見習い

「人形劇ミュージアム」の、約800体の人形を飾った展示室にて、他にも、西園の伝統人形芝居や、アジア・ヨーロッパの人形の展示、懐かしい「ひょっこりひょうたん島」のレプリカ人形の展示も。



簡単な人形作りのワークショップもある。「人形には、子ども大人も夢中にさせる魅力があります」と高野さん。



舞台セットで人形を操り、テレビモニターで見ることが出来る展示室。



芝居の経験があるだけに、人形のセリフを話しても言葉がはっきりと聞き取りやすく、感情表現も豊か。

現を目標し模索中だ。

北のふるさとより屋敷が鮮やかで、空ももうとんもうまい。仲良くなった煎茶サークルの80・90代のおばあちゃんたちはバワフル。この地では自分の未来までも明るく感じられる。「ここを自分の居場所にした」と感じ始め、若い異性とも知り合おうと、市が主催する縁結びイベントに参加したんです。そこで運命の女性と出会い、結婚して2年になる。

「夢が変わったというかな、一番じゃなくなつたというかな」と、現在の高野さんは語る。「人形劇師の技を磨く、家族を増やして楽しく暮らす。元気をくれる地域の人に感謝したい。どれもかなえる方法があると思うんですよ」と、大切なものが増えた今、より大きな幸せの実

「人形劇ミュージアム」は全国的にも珍しい施設。集まる「人形劇場とらまる港」では、日本中のプロの人形劇団が1年を通して公演し、海外の劇団が公演を行うこともある。



高野大百さん
人形劇師見習い。「とらまるパベツランド」のスタッフとして、来場者に人形の振り方や作り方を教え、SNSで人形劇を上演することも。

香川に住んで
はじめたこと



来場者と一緒にマリオネットをみて遊ぶ。最初は人形を操る子どももいるが、その子どもを笑顔にできた時は、仕事に一番喜びを感じる。

東かがわ市には、人形劇ミュージアムと人形劇場を併せ持つ、「とらまるパベツランド」があり、高野大百さんはそこでスタッフとして働いている。
北海道の札幌市出身、小学3年生の時、学芸会で脚本作成と主役を務めた劇が大盛況で、役者の夢を見始める。進学を機

に上京し、27歳で文学座の養成所に入所。念願の役者修業だったが、力不足を痛感し、1年で札幌に戻った。ある日、何気なく出向いた人形劇の公演で人形がいまひとつと動きまわらなさを感銘を受け、人形劇師が新しい夢になる。香川県に人形劇の学校があることを知り、移住を決めた。





私たちの山里へ いらつしやい。

香川の山里を巡る旅。

その最大の魅力は、

飾らない笑顔で迎えてくれる

里のお母さんたちかもしれない。

自然に分け入っての体験、

人情あふれる民宿での一夜、

素朴ながら心のこもった料理。

お母さんたちとの触れ合いが

忘れがたい時間になる。

香川の冬は山里があなたたかい。

五名の里に招かれて

香川県の東端、東かがわ市には、「五名」という山里がある。讃岐と阿波を結ぶ重要な街道が通り、旅人を迎え、お土産さんをもてなしてきた交通の要所である。その款待の気風は今も伝わり、山里暮らしの日常に、そのまま引き入れてくれるような心地よい時が流れていく。五名の里人は、今なお隣近所で声を掛け合い、助け合って暮らす。高齢化と人口減少が進む中で、その絆は「五名活性化協議会」の結成となった。協議会のそれぞれの組織が、訪れる人でにぎわう町にしたいと、祭りやコンサートを開催し、「五名で遊ぼう」と題した体験メニューも用意している。

心温まる冬の山里

その拠点となるのが、「五名ふるさとの家」。里のお母さんたちが集まって、それぞれの持ち味を生かしながら運営している。毎週土曜日のみの店開きであるが、自慢の品を持ち寄って、笑顔の絶えない産直市が始まる。折々の山



里体験の受け付けもここでを行い、冬はシイタケ栽培の体験を受け入れている。昼時には、イノシシカレーの魅力的な香りが漂ってくる。五名のイノシシ肉はおいしく美しいと定評があるが、この販売を手掛けるだけでなく、カレーライスとしても提供している。「五名ふるさとの家」の奥側は飲食スペース。火鉢にあたりながら食べるお母さんたちのイノシシカレーは、特別おいしく感じられる。五名とその周辺には、白鳥温泉があり、民宿「五名やまびこの宿」もある。この冬、心も温めに訪ねてみたい山里である。





【イノシシ】 ぼたん鍋

イノシシは山里の暮らしと縁が深い。時には畑を荒らす害獣であるが、猟師に仕留められれば最高のごちそうとなる。うま味の強い脂身とコクのある赤身、両方のおいしさをしっかりと味わえるのがぼたん鍋である。ポタンの花のように美しく皿に盛り付けられた肉を、野菜と一緒にみそ仕立てのだしで煮込む。熱々をかみしめると、ジビエならではの濃厚なうま味が口に広がる。



豪快なイノシシの丸焼きも。五名活性化協議会が行う「いのしし祭り」などでも見ることができ、野趣あふれる山のごちそう「イノシシの丸焼き」。うま味が強く、塩こしょうだけで、おいしく食べられる。

名物
イノシシカレー。
土曜日だけ開店する「五名ふるさとの家」で提供されているイノシシ肉たっぷりのカレーライス。イベント時には、イノシシカレーうどんとして提供することもある。



冬の「ごちそう」

新鮮なイノシシ肉のぼたん鍋と冬野菜たっぷりのしっぽくそば。寒くなるほどありがたい、山里ならではの冬のごちそうである。

【そば】

しっぽくそば

うどん大国の香川ではあるが、山里では昔からソバが栽培されている。中でもまんのう町はソバ畑が多く、秋には町内のあちらこちらで白い花が揺れている。ソバ栽培の盛んな里山で愛されている冬のそばが「しっぽくそば」。ダイコンやニンジン、鶏肉を煮込んだ具材たっぷりのだしを、そばにかけて食べる。素朴な一杯ながらも滋味深く、体の芯から温まる。

冬季限定 「そば打ち体験」

まんのう町の川奥地区では、冬季限定の「川奥そばうち道場」で、そば打ち体験ができる。地元そば粉と山の清らかな水を使ったそばは、特別な味わいである。



まんのう町の ソバ畑。

香川県の南部に位置するまんのう町は、ソバ栽培が盛んな地域。8月のうね作りから11月の脱穀まで、時期に応じた栽培体験も実施している。



私たちの山里へ
いらつしやい。



私たちの山里へ
いらっしやい。



体験の民宿



東かがわ市五名にある「五名やまびこの宿」は、一軒丸ごと借り切る農家民宿。里山の自然を堪能し、季節には栗拾いなどが楽しめるほか、織物や染物などにも挑戦できる。通年申し込みが可能なおおほぎ作りも人気で、宿を営む木村妙子さんが優しく丁寧に教えてくれる。その人柄と相まって、木村さんとおおほぎを作っていると、親戚の家に遊びに来たような気分になってくる。掘りごたつを開んでの何気ない会話が心に残る。

掘りごたつで食べる
手作りおほぎ。



五名やまびこの宿
TEL0879-29-2502
※宿泊・体験とも要予約。

五名やまびこの宿

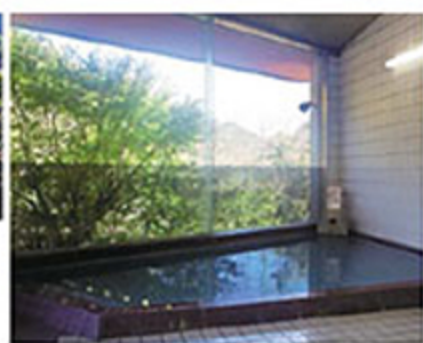
山里に湧く温泉

複数の効能を
一つの湯で。

東かがわ市五名のやや東、人里離れた山あいに、「白鳥温泉」がある。すぐ横には小川が流れる美しい場所であり、春には300本の桜が咲き誇る花見スポットとしても知られる。珍しいのは、効能の異なる別々の源泉からお湯を引き入れられていること。一つの湯に入るだけで炭酸泉と硫黄泉の効能を得られるハイブリッド温泉である。食堂を備えており、冬には地元産のイノシシ肉を用いたたん鍋（要予約）やしゃぶしゃぶを味わえる。



白鳥温泉
TEL0879-27-2236



古くから旅人やお遍路さんの疲れを癒やしてきた山里の温泉は、そこに暮らす人々の憩いの場所でもある。



エビアみかど
TEL0877-56-0015



平賀源内が注目した美肌の湯。
まんのう町の美肌温泉は、古くから良質の温泉として知られていた。江戸時代には、かの発明家・平賀源内が、湯島の薬品会に、わざわざ美肌温泉の湯を出品したほどである。ややぬめりがあり、湯上がりには肌がすべすべになる美肌の湯は、「エビアみかど」で楽しめる。施設内には休憩室や地元の名産品を扱う売店のほか、地産を眺めながら食事できるレストランがあり、地元産のそばや、ばたん鍋（要予約）が人気である。



民宿 美合
TEL0877-84-2020
※宿泊・体験とも要予約。

会話が弾む
薬草摘み体験

まんのう町で民宿「美合」を切り盛りする立藤留子さんは、太陽のように明るい性格で世話好き。全国の民宿の中から「農林漁家民宿おかささん百選」にも選ばれた。民宿の近くには立藤さんが世話をする1畝の薬草園があり、予約すれば薬草摘み体験ができる。「カラタケはがん予防に」「フジバカマは乾燥させると芳香剤になる」など、立藤さんの話を聞きながらの園内散策が楽しい。夜は薬草風呂が、たまった疲れを癒やしてくれる。

山懐に抱かれた静かな民宿。
宿のお母さんと触れ合いながらの山里体験があなたに伝わる。



菊池寛

その人生、小説より奇なり

香川県出身の小説家・菊池寛は、2018年に生誕130年、没後70年を迎える。「父帰る」や「恩習の彼方に」、テレビドラマで話題になった「真珠夫人」など、後世に残る小説や戯曲を生み出したが、その功績は作品だけにとどまらない。生活に裏打ちされた芸術を目指す「生活第一 芸術第二」を信条とし、生涯の友人であった芥川龍之介をして、「僕などは芸術にかかれるという方だが、菊池は芸術に頼られる」と言っている。おかしいが、芸術は菊池の場合、彼の生活の一部に過ぎないかの観がある」と言わしめた。愛すべき逸話が数多く残り、それらが執筆の原動力にもなった。

生活第一

芸術第二

現代の文学も照らす偉業

学生時代から小説を書いていたものの、1916年(大正5年)に28歳で新聞記者として社会に出る。不器用だが正直で丁寧な取材を行い、誰もが読みやすい記事を書いた。小説や戯曲が少しずつ世に認められて作家専業となり、1920年(大正9年)、社会的な視点で上流階級を描いた新聞小説「真珠夫人」が爆発的にヒット。当代随一の人気作家になった。

執筆依頼が引きも切らない中、「私は頼まれて物を云うことに飽いた。自分で考えていることを、読者や編集者に気兼ねなしに、自由な心持で云ってみたい」と、1923年(大正12年)に同志を集めて出版したのが月刊雑誌「文藝春秋」である。うどん1杯分ほどの10銭で

発行し、高価だった書籍や雑誌の低価格化の先駆けとなった。月ごとにページ数も発行部数も増え、創刊号の3000部が、3年後は11万部になった。昭和になり創作中心の文芸誌から総合雑誌に編集方針を変え、日本を代表する雑誌に育っていく。

1935年(昭和10年)に「芥川賞」「直木賞」を創設したのも寛だ。「文藝春秋」創刊以来、巻頭に文章を書いていた盟友・芥川龍之介が自死し、目をかけ親しくしていた人気の大衆作家・直木三十五も病死すると、二人の名を後世に残すため、また看板作家の消失を埋める企業家の発想もあり、賞を創設した。

寛がいなければ、日本の出版や小説文化は、今よりずっと味気ないものだったかもしれない。



「文藝春秋」創刊号。雑誌名と、記事題名、執筆名が並んだだけの、簡潔な表紙。(菊池寛記念館所蔵)

1956年(昭和31年)に高松市の中央公園に建てた菊池寛の像。除幕式には吉川英治が出席し、「幸いにして僕が思っていたより大分いい日に、いい男になっていました」と喜んだ。

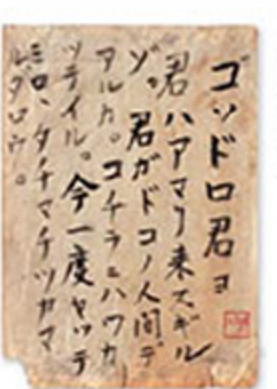


執筆中の様子。「文壇の大御所」と呼ばれ、文藝家協会を組織し、日本文学奨励会を設立するなど、作家の地位向上にも努めた。



芥川龍之介がいたずら書きをした頁の原稿。芥川は寛の原稿を赤字で修正することもあり、芥川を尊敬する寛はそのまゝ入稿することもあった。(菊池寛記念館所蔵)

2017年(平成29年)の夏、彫刻家・渡辺之さんと、現在の地権者・第一法規の協力で、公益財団法人渡辺財団が菊池寛の生家跡に設置したモニュメント。



波乱万丈の私生活

菊池家は、高松で代々藩お抱えの儒学者を務める家だったが、明治の改革で没落。生活に窮して、少年時代は教科書も買えず、父親に「写本しろ」と言われるほどだった。それでも学業優秀、知識欲も旺盛で、高松に初めてできた県立図書館に通いつめ、2万冊余りの蔵書のほとんどを読破したと伝わっている。

旧制高等学校と大学は、6年間で数校に籍を置いた。経済的な支援者との不和、安定した職を得ようと不本意な学校に通ったの学業怠慢など、さまざまな事情で除名や中退を繰り返した。唯一、青春を謳歌し、後まで交流が続く多くの小説家仲間と出会った第二高等学校も、卒業までわずか3カ月という時に「マント事件」で退学した。友人に借りたマントが盗品で、お金のない寛が盗んだというねれぎぬをあえてかぶったのだ。苦難にもがきながらも、並外れて人情に厚かった。

小説や出版事業が成功すると、人生が輝く。「文藝春秋」に加え映画会社の社長も務め、衆議院議員選挙にも立候補(善戦むなしく落選)。多彩な趣味を持ち、マジジャンの楽しさを雑誌で広め、競馬好きで多い時には78頭の馬主にもなった。また、「文藝春秋」編集部には卓球台と将棋盤があり、社員がそれらで遊んでばかりなのに業を煮やして禁止令を出したが、最初に禁を破ったのも寛だったという逸話が残る。おほかたで愛嬌あふれるキャラクターは、人を引きつけずにはいられなかった。

午前中に執筆し、午後に出社、毎週土曜は家族デーとして妻と子と過ごす家庭的な面もあり、創作だけに没頭するのではない、信条どおりの「生活第二」の暮らしぶりも知られていた。この世を去ったのは、第二次世界大戦終戦の3年後。戦時下の文芸奨励運動などを理由に公職を追放され、再び執筆活動に注力し始めた時だった。胃腸の不調が回復した快気祝いのパーティーの夜、狭心症の発作を起こして逝去。数時間前まで、当時の趣味だったダンスのステップを踏んでいたというのが寛らしい。告別式には7000人が参列したと新聞に報じられた。

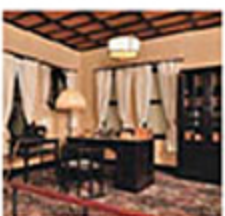
高松市の生家前の道路は「菊池寛通り」と名付けられ、中央公園には銅像が建つ。その功績や人間味あふれる生涯を、菊池寛記念館で知ることができる。



菊池寛記念館

菊池寛の功績と人間像を伝える展示室、著書を見ることができるコーナーがある。また芥川賞・直木賞の展示室があり、受賞作や一部作家の生原稿も見られる。

高松市昭和町1丁目2-20
サンクリスタル高松3階
TEL:087-861-4502



知事 「会いに行けるアイドル」をコンセプトに秋

業原を拠点に誕生した「AKB48」が今や日本のトップアイドルグループとして、大変な活躍をしておりますが、その国内6番目の姉妹グループとして、2017年3月に誕生したのが「STU48」。6番目といっても瀬戸内エリアを本拠地とし、1つの海、7つの県を股にかけるAKBグループ初の広域アイドルグループなんです。今や、アイドルグループは、地域の魅力を発信する大きな力となりますので、「STU48」には香川県としても期待を寄せています。そこで、今回は「STU48」の香川県出身のメンバーお二人に香川の魅力についてお話しいただきました。

福田 「STU48」の福田朱里です。香川県が大好きで、讃岐うどんはもちろんのこと、育ってきた香川県の風土や風景が自慢です。香川県出身という肩書きでアイドルになったことが、すごくうれしいんです。「STU48」のメンバーというだけじゃなく、香川県出身のメンバーとして、がんばっていききたいと思っています。

榎 「STU48」の榎美優です。私も香川県、特に香川の食べものがすごく好きです。こうして対談に呼んでいただけたらなんて、感激しています。もともと「STU48」で香川のことをアピールできるような、そういう存在になりたいと思います。

知事 榎さんは美術部に所属していたと伺いましたが、香川県で描いてみたい風景というところでしょうか。

榎 中学1年生の時には、私の好きな香川のものを詰め込んで香川県をPRするポスターを作りたいなと思っていました。香川県の漁港の風景も大好きです。

知事 「STU48」のオリジナル曲「瀬戸内の声」は、素晴らしいふんわりと賛歌ですね。瀬戸内海の良いところがいろいろ出てきますが、香川県には潮が引くと島に向かって現れるエンジェルロードや歴史の町並みが残る仁尾や引田など、ロマンティックな場所が、ほかにもたくさんあります。また、うどん以外の食べ物でいえば、公式プロフィールで、「お一人は「和三盆」を挙げていましたね。

榎 実は、和三盆は学校の給食で出てくるんです。口に入れたときの、ほろほろって溶ける感じがたまらなく好きで、初めて食べた時は感動しました。

福田 学校の校外学習で、自分で和三盆を作った食べたこともあります。小さい頃から大好きなお菓子です。

知事 「和三盆」は江戸時代から続く伝統の技で生み出される高級なお砂糖ですが、木型に入れて季節の花々などの美しい和菓子になります。この繊細な味わいも若い方に人気があるんですね。福田さんは、「いただきます」から買うお魚も挙げていましたね。

福田 はい、家の近所に、いただきますさんが車を引いて来てくれました。母がおしやべりをしながら、よくお魚を買っていたので、お魚はいただきますさんから買うものだと思っていました。香川県は瀬戸内海で取れる新鮮な魚が本場においしく、恵まれているなと思います。

かがわの輝きを伝えたい!

MIYU SAKAKI 美優 榎 AKARI FUKUDA 朱里 福田
知事対談 < 浜田 恵造 > KEIZO HAMADA

STU48
福田 朱里



STU48
榎 美優



しまいましたが、県内にはおいしい魚介類を味わえる店が多くありますので、若い皆さんにもぜひ食べていただきたいですね。

榎 はい、香川県は日本一小さい県ですが、その小さい県においしいものが本場がたくさんあります。オリーブ牛やオリーブハマチなど、香川県にしかないものも多く、その上、素晴らしいアートの素晴らしい風景もたくさんあるので、県外の方にもその魅力をしっかりアピールできるように、「STU48」のメンバーとして活躍したいと思っています。そういう役割を担えるようになって、香川県にたくさんの方が来てくださると嬉しいです。

ました。風景では美術部のみんなと訪れた直島が忘れられません。港にある草間彌生さんが作ったかばちのアーートのインパクトがすごく、目で大好きになりました。

知事 あの風景は写真の撮影スポットとしても人気があります。3年に一度、香川県の島々を舞台に開催される「瀬戸内国際芸術祭」では、野外的なアート作品も多く制作され、「ART SETOUCHI」として芸術祭終了後も見ることが出来ますよ。福田さんはいかがですか。

福田 たくさんありますが、一つは観音寺の銭形砂絵。砂で作った「寛永通宝」の絵をずっと維持しているなんて、素晴らしいと思います。今も町の人たちが協力して守り続けているのですから、すごいなと思います。他には「瀬戸内の声」のミュージックビデオ撮影で訪れた庵治の港も好きでした。「世界の中心で、愛をさけぶ」のロケ



福田 香川県は日本一面積が狭い県です。ということは、人と人の距離が一番近い県だと思います。私は、そんな香川の人たちの温かさが好きだと思っています。「STU48」の活動の中で「ショールーム」という生配信アプリで、よくファンの方とお話をさせていただけますが、ファンの皆さんもホントに温かくて、この「ショールーム」では、香川県の観光マスコット「親切な青鬼くん」のぬいぐるみも登場させました。おすすすめスポットで自分が撮った写真を見てもらったり、香川県の穴場を紹介したり、たくさんの方が香川に興味を持っていただけるように、活動を始めています。これからも、香川に來たいなという人が増えるように、どんどんPRしていきたいなと思っています。

知事 これまででは、若い人たちが夢を追いかけて都会へ出てしまうことばかりでしたが、地方にいても夢がかなうことの例として、ぜひ世界に知られるようなアイドルになっていただきたいですね。本日はありがとうございました。

STU48 (エスティーユーフォーティーエイト) (芸出者: 榎美優(さかきみゆ)2002年4月28日生、福田朱里(ふくだあかり)1999年3月29日生)「STU48」は、人気アイドルグループ「AKB48」の姉妹グループとして2017年3月に結成され、瀬戸内沿岸の7県を拠点に活動する広域アイドルグループ。瀬戸内海を主とした船上劇場というスタイルで、歌とダンス・トークから構成される公演を予定し、初のオリジナル曲「瀬戸内の声」のプロモーションビデオは高松市、庵治町など県内でも撮影されており、瀬戸内の魅力を発信している。9月29日から瀬戸内7県ツアー(香川県10月28日)を開始し、2018年1月にメジャーデビュー予定である。芸出者の榎さんと福田さんは、全国5001人の応募者から選ばれた31人の1期生となる。

香川県知事
浜田 恵造



日本一面積が狭い香川県、しかしこの小さな県には驚くほど優れた農産物があふれている。果物では、イチゴ、モモ、ブドウ、ナシ、キウイ、ミカンなどなど、四季折々に世界を魅了する味が続々と収穫されている。その中には、世界のどこにもないフルーツとして生まれた香川県オリジナル品種という貴重なものもある。その一つが温州ミカンの「小原紅早生」である。

味が良いのはもちろん、「日本一紅いみかん」として、世界にめでたさを広げている。

瀬戸の潮風を受けて

「日本一紅いみかん」が発見されたのは、1973年（昭和48年）のこと。瀬戸内海を望む香川県坂出市のミカン農家で栽培されていた「宮川早生」という温州ミカンの木に果皮が濃い紅色をしたミカンが見つかった。枝変わりという突然変異で生まれたこのミカンは、発見者の小原幸晴さんの名前を冠して「小原紅早生」と命名された。

突然変異で生まれたものは、親より劣った形質になることもあるが、この紅いミカンは糖度も高く、濃厚な食味を持っていた。「これは他にない素晴らしい品種になる」と誰もが確信したものの、品種登録までには20年の歳月を要している。新たな品種に期待する人たちにより、幾度も調査や栽培試験が繰り返され、1993年（平成5年）に香川県オリジナル品種としてようやく登録がかなう。

正月に華を添える

この至宝のミカンが、「おいしい紅いみかん」として香川発でその知名度を上げ、世界へ向けて輸出の検討が始まったのは2007年（平成19年）のことであった。実は、国内での販売当初、見たこともない紅い果皮に戸惑う人がいるほどで

あった。そこで、赤を緑起の良い色とする中華系の人々にこの希少なミカンを知っていただきたいと、台湾、香港への輸出が始まる。

特に中華系の人々の間では、「春節」と呼ばれる旧正月に小玉ミカンを贈り合う風習があり、紅い「小原紅早生」は確実に人気が出ると考えられたが、「春節」は日本の1月や2月であるため、出荷するミカンは年を越しての収穫となる。この「越冬みかん」は、収穫まで果実に養分を送り続けるため、その年に花をつけることができず、2年に一度しか収穫できない。その上、枝でしっかりと熟するため、傷みやすいという難点もある。そこで、実を二つ袋でくるみ大切に出荷する。栽培にも出荷にも相当な手間を掛け、世界最高レベルの味が届けられるのだ。

クリスマスソングに乗せて

台湾では多くの方に味わっていただけたろう、12月にさまざまなビジュアル活動が行われている。その一つは、デパートなどでのクリスマス商戦に合わせて、「小原紅早生」を売り込むというもの。緑の木の木の隣で鮮やかな紅色がひととき目を引く。

また、シンガポールやマレーシア、香港といった

冬を彩る紅い蜜柑
「小原紅早生」
おぼらべにわせ

台湾以外の国や地域でも、官民が連携して輸出拡大の取り組みが進行している。その効果もあり、知名度は徐々に上がっている。

今や国内では、糖度が高く濃厚な甘みが知られるようになり、贈答用としても高い評価を得た「小原紅早生」。海外でもこの色と味は、数多くのファンを獲得していくことだろう。まずはこの冬、味も色も希少なその世界を堪能してみようか。



台湾では、店頭はもちろんメディアなどにも「小原紅早生」のおいしさを積極的にアピールした。

香川愛媛 せとうち旬彩館

KAGAWA EHIME
SETOUCHI SHUN SAI KAN

東京・新橋アンテナショップ

特産品、郷土料理、観光交流コーナーで香川の旬をぜひどうぞ

2017年12月1日(金)~2018年2月28日(水)

「かがわ冬の味覚フェア」

注目はこれ!



秋冬にかけて収穫を迎えるオリーブをはじめ、キウイフルーツやミカン、イチゴなど、香川が誇る旬の果実やその加工品などを幅広くご紹介します。

中でも、この時期にしか食べられない「新漬けオリーブ」は、まだ青いオリーブの実を収穫してすぐに塩漬にしたもので、オリーブそのものの味を楽しめます。

また、今年収穫したオリーブから搾った高品質なオリーブオイルなどオリーブ関連商品も充実させて取りそろえています。香川県だからこそお届けできる季節の味をぜひお試しください。

2F 郷土・せとうち料理「かおりひめ」では、1月4日から15日までの間、香川のお正月には欠かせない「あんもち雑煮」や「年明けうどん」が登場。



東京都港区新橋2-19-10新橋マリンビル1,2階
予約 | <http://www.setouchi-shunsaikan.com/>
観光交流コーナー TEL03-3574-2028

2018年1月23日(火)~24日(水)

「四国うまいもの市」

ここも要チェック!

四国4県の大坂事務所が自慢の「うまいもん」を持ち寄り、「四国うまいもの市」を開催します。香川県からは、讃岐うどんをはじめ、オリーブ製品や発酵糖を使用した商品など、香川のうまいものが並びます。ぜひ、お立ち寄りください。

【場所】愛媛県大坂事務所
大坂市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル1階
【時間】10:00~18:00(最終日は17:30)(予定)



【問い合わせ】香川県大坂事務所
TEL06-6281-1661
大坂市中央区東心斎橋1丁目18-24
クロスシティ心斎橋4階

香川県大坂事務所

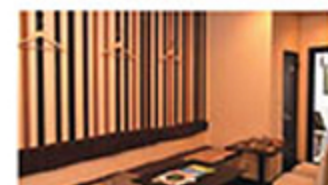
〔大阪で味わえる香川の恵み〕

香川の食材に大阪で出会った。
まずは大阪で。次はぜひ本場香川へ



シンプルにいただく香川のプレミアム黒毛和牛 A5オリーブ牛グリル

瀬戸内の温暖な気候風土で育った「讃岐牛」にオリーブオイルを搾った後の果実から作った飼料を一定期間与え育てられた「オリーブ牛」。



商店街から路地に入るとすぐにある2015年4月にオープンした「ビストロジレット」で、最高級A5ランクの「オリーブ牛」を堪能できます。他にも香川県産のオリーブ豚やオリーブ茶なども提供しています。運が良ければ、高松市出身のシェフの実家から送られた野菜もいただくことができるかも。シェフおすすめの「A5オリーブ牛グリル」は、オリーブ牛を軽くグリルし、岩塩やシェフ特製の赤ワインソースでいただきます。「シンプルな調理方法だけに、オリーブ牛のうま味がよく分かります」とシェフ。

ランチだけでなく、夜には国産ワインやリキュールなど、お酒と一緒にいただいてもいいですか。なお、オリーブ牛とオリーブ豚の入荷状況については、事前にご確認をお願いします。

リーズナブルな料金で、香川のプレミアムな黒毛和牛「オリーブ牛」を、ぜひ味わってみてください。



【Bistro Girouette(ビストロジレット)】
大阪府大阪市福島区吉野2丁目11-7 TEL06-6447-5688

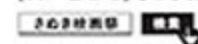
「さぬき映画祭2018」開催決定

「映画、だけじゃない映画祭」のコンセプトのもと、今回も香川県出身の本広克行監督をディレクターに迎え、2月9日(金)~12日(月・祝)の4日間、「さぬき映画祭2018」を開催します。

前回は引き続き、さぬきストーリープロジェクト「ショートムービー」コンペティションを実施するほか、ゲストトークや演劇公演など、多彩な内容で、皆さまをお待ちしております。



【問い合わせ】さぬき映画祭実行委員会事務局 TEL087-832-3782



県が運営するインターンシップ支援サイト 「インターンシップナビかがわ」 オープン!



県は、県内企業や官公庁で実施されるインターンシップ情報の検索から参加申し込みまで行うことができる「インターンシップナビかがわ」を11月1日に開設しました。

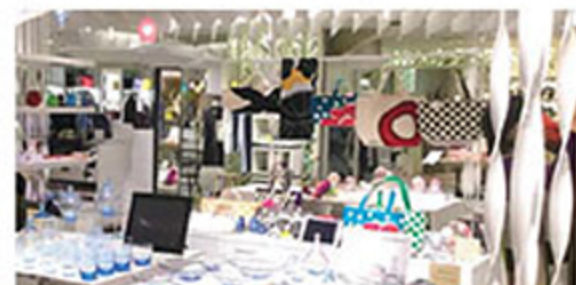
「インターンシップに参加してみようと思うけれど、県内にはどんな企業があるの?」「インターンシップって何をやるの?」といった疑問から、県内で開催するイベントやお知らせもサイト上で発信します。

また、ワークサポートかがわでは、専門のコーディネーターが、インターンシップに関するあらゆるご相談に応じます。香川のインターンシップ情報を丸ごと集めた支援サイト「インターンシップナビかがわ」を、ぜひご利用ください。

【問い合わせ】
香川県就職・移住支援センター(ワークサポートかがわ)
高松市サポート2番1号 マリタイムプラザ高松2階
受付時間:平日8:30~17:15 TEL087-802-4700



伊勢丹新宿本店で香川を満喫 「香川デザイン倶楽部」



東京・伊勢丹新宿本店で香川を満喫できるイベント「香川デザイン倶楽部」を開催します。イベント期間中、伝統工芸品や家具、雑貨などを販売するほか、本館5階にあるカフェ「貴菓 RAICA(ライカ)」や地下2階にある「HATAKE CAFÉ(ハタケカフェ)」で、香川県の食材を使用したメニューを提供します。また、これらのカフェ内でも工芸品や雑貨などを展示する予定です。

香川を感じることでできるイベントです。ぜひ、見て・触って・味わって、香川の魅力を堪能してみてください。

【期間】2018年2月7日(水)~20日(火)

【場所】伊勢丹新宿本店 本館5階

【問い合わせ】香川県農産品振興課 TEL087-832-3387

かがわ県産品コンクール 受賞作品が決定しました

全国展開できる県産品の裾の裾を目的として開催し、今回で15回目となる「平成29年度かがわ県産品コンクール」の受賞作品が決定しました。過去最多の応募品の中から選ばれた優秀作品をご紹介します。



- 【うどん県、それだけじゃない香川県】知事賞(最優秀賞)
【食品部門】小豆島・手延べ銀四郎餅 オリーブ菓糖(銀四郎餅業)
- 【菓子・スイーツ部門】えびチーズフォンデュ(志満秀)
- 【一般部門】おいらアクセサリー(1000s×Box Gallery Make Merry!)
- 【うどん県、それだけじゃない香川県】優秀賞
【食品部門】讃産 さわらの味噌漬(二端)
- 【菓子・スイーツ部門】いちごアイス大福(さぬき農園ぐらし)
- 【一般部門】une(ウネ)(IKUNAS/tao.)
- 【15周年特別賞】(審査委員特別賞)
【食品部門】瀬戸内の鮮魚100%でつくったリゼット(惣野商店)
- 【菓子・スイーツ部門】ときめきクワイ(シカ)
- 【一般部門】えんじものシリーズ(hacomo)

【問い合わせ】香川県農産品振興課 TEL087-832-3383



期間限定・和船でほっこり 冬のあったか和船キャンペーン実施



特別名勝「栗林公園」で寒い冬に和船でほっこりするのはいかがですか。キャンペーン期間中、和船に乗船される方全員に栗林公園特製カイロと公園内で採れた梅を漬けた「ホット梅ジュース」をプレゼント。また乗船者は、お楽しみ抽選会にもれなく参加できます。

通常は南湖の和船周遊ですが、期間限定で迎春丸による北湖特別周遊も実施します。

箱松・屏風松をはじめとする松の美しい景観や南梅林の梅を和船から、温かく眺めてみませんか。なお、通常の南湖周遊も千秋丸で運航しています。

【期間】2018年1月4日(水)~2月20日(火)

※北湖特別周遊(1日6便) ※南湖周遊(1月:1日13便/2月:1日14便)

【問い合わせ】栗林公園観光事務所 TEL087-833-7411

栗林公園 | <https://www.my-kagawa.jp/ritsuringarden>